

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	森林（もり）でつながる事業
事業主体 (連絡先)	伊那市ミドリナ委員会 伊那市50年の森林推進室 0265-78-4111 (内線2416)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ウ 森林づくりと林業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,458,640円 (うち支援金: 1,901,000円)

事業内容

ミドリナ白書PR

【内容】冊子印刷、Web発信等のPR活動

森のマルシェ (イベント)

【開催日】R4/7/10(日), 8/3(水), 10/1(土), 12/4(土)

【会場】鳩吹公園 (伊那市横山) 他

【参加費】無料

【事業概要】地域材製品販売、DIY体験、焚き火他



【森のマルシェ(10月)の様子】

森を中心としたコミュニティー構築

【内容】公式LINEの作成、イベント「たき火の日」開催、LINE加入者向けグッズのデザイン・製作

【目標・ねらい】

- ①森林の魅力を市民に伝える
- ②森林資源の利活用促進
- ③森林・林業関係事業の発展

事業効果

- ①ミドリナ白書はイベントでの配布、web上での配信を通して多くの市民にPRすることができた。
- ②森のマルシェには、製材所や林業事業体、ジビエ料理人等が集い、市民と森林関係者、また森林関係者同士が交流できる場となった。家族連れをメインに全4回で合計1,000人以上の来場者があり、市民が森林に親しみ、さらに森林関係者の横のつながりを作る場になったと考える。
- ③コミュニティー醸成事業ではミドリナ委員会の活動への賛同者を集めながら活動の輪を広げることができた。

※自己評価【A】

【理由】

たき火の日、公式LINEの作成等新たな取り組みを行った。これらの取り組みや各種イベントを通してミドリナ委員会の活動の輪がさらに広がったと考えられる。

今後の取り組み

本事業は、伊那市50年の森林ビジョン実現のため、人と森林を近づける第1歩としての位置づけである。さらに多くの方に森林に興味を持ってもらうため、同様の取り組みを続けていきたい。また、今年度から取り組みを開始したコミュニティー醸成事業の中で、「たき火の日」は不登校などで社会に入りづらい子供たちの居場所づくりも目指している。今後も「森林を中心としたコミュニティー」が様々な形で広がっていくよう取り組みを続けていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある